



令和2年5月26日

附属高等学校3年の渡辺直希さんが第61回 国際数学オリンピック（IMO）ロシア大会の日本 代表選手に決定しました

公益財団法人数学オリンピック財団、国立研究開発法人科学技術振興機構が共催する、2020年第30回日本数学オリンピック（JMO）において、本学附属高等学校3年渡辺直希さんが、最も優秀な成績を収めて、川井杯・金賞を授与されました。

これは、毎年7月に各国持ち回りで開催されている国際数学オリンピック（IMO）に派遣する6人の日本代表選手を選ぶための日本国内でのコンテストであり、毎年1月に予選、2月に本選、3月に春合宿を行って選手が選ばれます。選考の結果、渡辺さんは第61回国際数学オリンピック（IMO）ロシア大会の日本代表選手に決定しました。

渡辺さんは、2018年の第59回国際数学オリンピック（IMO）ルーマニア大会、2019年の第60回国際数学オリンピック（IMO）イギリス大会に続き、3年連続で国際数学オリンピックの日本代表選手6人に選ばれました。2018年、2019年とともに銅メダルを獲得しています。なお、今年度の大会は、新型コロナウイルスの感染拡大により、日程が7月から9月に変更となっています。

（参考）日程 9月19日（土）選手団出発
20日（日）開会式
21日（月）コンテスト(1日目)
22日（火）コンテスト(2日目)
23日～24日 国際交流・観光
25日（金）閉会式
27日（日）帰国

【お問い合わせ先】

広島大学附属高等学校
副校長室
TEL:082-251-0192
FAX:082-252-0725

発信枚数：A4版1枚（本票含む）